

目標達成計画

作成日: 平成 29年 4月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	23	利用者が発した言葉や思い出話から、得た支援に役立つ情報を収集する方法が必要であり、さらに支援に役立てるためには職員誰もが、わかるように統一した様式の検討も望まれる。	利用者が発した言葉や思い出話から、得た今後の支援に役立つ情報を収集する方法を考え、さらに職員間で共有できるような様式を検討する。	入所時から基本情報が更新されていなかったの で、私シートを作成し、利用者本人と会話した際 に得た情報を随時記載して、最新の基本情報を 職員間で共有し、支援に役立てる。	3ヶ月
2	26	日常生活動作だけでなく、QOR(生活の質)に着眼点を置いた個人に特化した支援計画の作成が望まれる。また、介護計画の支援目標の実践内容が確認できるような記録の取り方の検討を期待したい。	QOR(生活の質)に着眼点を置いた個別支援に基づく計画書の作成を行う。また、介護計画の支援目標の実践内容が確認できるような記録の取り方を検討し実施する。	可能な限り本人の意向をくみ取り、QOR(生活の質)に着眼点を置いた個別支援に基づく計画書の作成を行う。また、介護計画の支援目標の実践内容については、今行っている支援内容を計画書内のサービス内容に記載し、明確にする。	3ヶ月
3	35	火災訓練後の課題抽出後の対策について、訓練内容、回数、避難後のルールを含め検討することを期待したい。また、自然災害についても、具体的な対応を検討することが望まれる。	火災訓練で挙げた課題についての具体的な対策を、訓練内容、回数、避難後のルールを含めて検討する。また、自然災害についても同様に対策の検討を行う。	避難訓練はいろいろな内容で毎月行うようにする。そして、避難後に本人確認を行うための身元確認カードを作成し、職員の緊急連絡網なども見直す。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月